

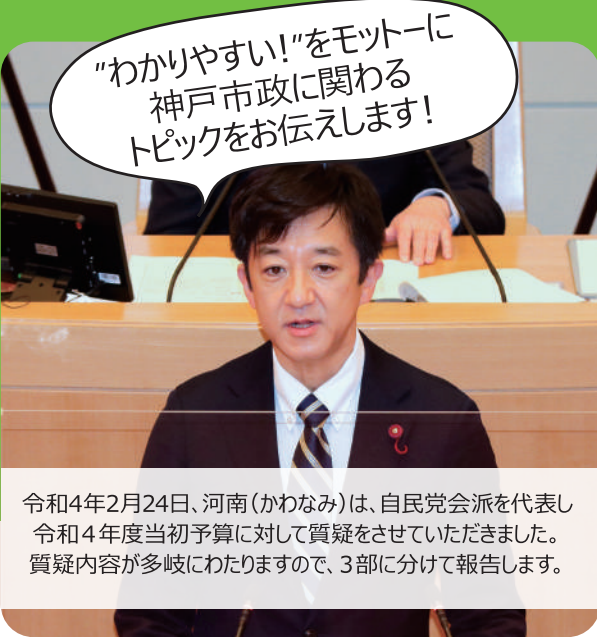
かわなみ

ただか
《中央区》



今回の
報告

- Vol.34 子供たちのケアと学びの配慮 ● 公園の安全管理 ● 民間委託と市直営施設の基準
- Vol.35 代表電話業務と総合コールセンターの対応 ● DXによる市民サービス向上について
- Vol.36 都心三宮再整備について ● 県市協調における市街地再開発事業について



かわなみ



子どもケア・みなとのもり公園・王子公園

市民のみなさんから寄せられた声を、神戸市、神戸市教育委員会へ届けました!



かわなみ 質疑

コロナ禍で大きく変化している 子どもたちのケアと学びの配慮について

小学校では学級閉鎖を余儀なくされるなど、子供たちを取り巻く環境は、コロナ前と大きく変化しています。子供の心身の健康のために自由参加として屋外で遊ぶことを積極的に促している小学校もあると聞いていますが、**教育委員会として方向性を示すべきでは?**



かわなみの 視点

小・中学校の生徒は、頭も体も一番伸び盛りで、感受性を養う時期です。ヘトヘトになるまで走ったり運動したりすることも、この時期には大変重要だと思います。

接触するような運動は避けた方が良いのかもしれませんが、オープンエアで接触がない『かけっこ』『マラソン』『山登り』『体操』などに関しては、基礎体力を使うものは安全を確保した上で、積極的に行っていただきたいと思っています。

社会性を育てることにに関しては、『学校』というのは友達とお喋りをしたり喧嘩をしたり、様々な営みを経て、自分と他人、友達の距離感をつかんだりする場です。

《子どもにとって最初の社会は、家庭が全て》

家庭での教育、親の考え方が当然と思って学校に行って、先生や生徒、様々な家庭で育っている子供たちと共に学び語ることによって、家庭の中だけの社会、親の言うことだけが全てではないと学びます。自分の家で教えられたことが、学校と反対であることも学んだりすることがあります。そうやって人間が形成されていくものだと思っています。

かわなみ 質疑

スケートボード利用者増加による みなとのもり公園の安全管理について

東京オリンピックにおける日本人選手の活躍で、スケートボードに対する注目が高まり、みなとのもり公園のニュースポーツ広場でも多くの若者がスケートボードに打ち込んでいます。



一方で、散歩などを楽しむ市民は横を通り抜けるスケートボードに危険を感じているという声も聞いており、万が一接触事故が起きてしまった場合は、当事者間のトラブルになってしまいます。

市民が安心して公園を利用できる環境を整えるために見守りカメラの設置はどうか?



かわなみの 視点



スケートボードの出来る場所を、もっと神戸市に増やせないのか!という、保護者の方もいらっしゃいます。

一方、スケートボード乗り入れのマナー違反に関してマスコミ・メディアでも報道があったり、非常に危ないという声も聞きますので、『見守りカメラ』でしっかりと対応いただきたいと思っています。

長田教育長からの答弁

児童・生徒の学びを保障し、心身の健康を保つために、感染防止対策を徹底の上、様々な工夫を図りながら、教育活動を継続しているところ。コロナ禍が長期化をしている中、子供たちは学校生活において大変我慢を強いられている状況にあり、この状況の中で、

体を動かしたり、また適度な遊びをするということは、大変重要であると考えている。

始業前、あるいは放課後の校内での自主活動ということについても、体育の授業に準じて、児童・生徒が密集したり、組み合ったり、接触したりしないよう、十分配慮した上で、運動や遊びを適切に行うように、教育委員会として、改めて学校や関係者に周知を図っていききたい。

かわなみの 要望

家庭でのタブレット使用において、終日タブレットを使ってしまう生徒もいるようです。あくまで、タブレットは日ごろの教育を補完するものとして、家庭での使い方を、学校がしっかりと指導をお願いします。



油井副市長からの答弁

みなとのもり公園のニュースポーツ広場については、公園の計画段階より市民の皆様とワークショップを重ね、若者の意見を取り入れて、整備したニュースポーツ活動の場となっている。現在は休日・平日、昼夜間を問わず、バスケットボールやインラインスケート、またスケートボード等のニュースポーツの活動の場として、多くの若者に利用されている。

東京オリンピック以降、特にスケートボードの利用者が増加傾向にある。

利用者の増加に伴って、**ゴミの放置や、施設の破損等の施設管理上の課題も生じており、利用者とも対応を重ねながら、マナー啓発に取り組んでいるところ。**



公園の安全管理を図るために『見守りカメラを設置してはどうか』という提案であるが、公園では、いわゆる防犯カメラをこれまで設置をしている。

具体的には施設の破損であるとか、不法投棄等の管理上、必要となる行為が頻発するような場合、また不審者目撃情報がある場合など、公園利用者の安全確保が必要な場合に、警察とも相談しながら、必要に応じて設置してきているのが現状で、みなとのもり公園では迷惑行為の防止等を目的としたカメラを出入り口付近に設置しているという現状。

ニュースポーツ広場では、利用者の増加に伴い、施設の破損等、管理上の支障も生じていることから、新たな見守りに繋がるようなカメラの設置も検討していきたい。

かわなみ



王子公園の再整備について

多くの市民よりパブリックコメントが寄せられています！

市民の声もしっかり聞いた、利用者の気持ちに寄り添った再整備であるために、須磨海浜水族園の再整備との取り組み方の違いを切り口に、質疑しました！



かわなみ 質疑

須磨海浜水族園 王子動物園 民間委託 と 市直営 の判断基準は？

- 須磨海浜水族園は『民間活力を導入した』再整備（※）
Park-PFI 制度（※）による民間活力を導入し、須磨海浜エリア全体の魅力向上を図ろうとしている
 - 王子動物園は『市による再整備』を進めようとしている
- 民間活力の導入の有無における判断基準は？

かわなみ MEMO

須磨海浜公園はどんな再整備？

- 「つながる」海浜リゾートパーク 神戸須磨 Parks+Resorts」をエリアコンセプトとして、「地域・公園・日常カジュアル」といったアーバンコミュニティパーク（地域のQOL向上）という機能と、「観光客・リゾート・非日常プレミアム」といったdestinationリゾート（観光客）という機能が二極対立ではなく、美しく調和して溶け合い、多様なつながりと交流を生むような場所を目指した再整備。
- 水族館だけでなく、引き続きこれまでの市民利用が継続できる公園として一体的に再整備するものであり、児童向けの遊具はもちろん、公園内で食事を楽しむためのレストランや子育て支援のための施設の設置も予定。
- 公園において各種イベントの開催も提案されており、市民をはじめ、多くの人が集い、にぎわう場となることを期待される。

Park-PFIの特徴は？

- 都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続き。
- 事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される。

油井副市長からの答弁

民間委託

近年、設立されている水族園の多くは、全国的に見ても、民間事業者によって整備、運営されているものが多い状況を踏まえ、須磨海浜水族園については、施設の魅力をさらに向上させ、集客を図るため、**民設民営方式**で行うこととした。

事業手法としては、海浜公園の園地であるとか、宿泊施設、駐車場、にぎわい施設を含めて、公園全体を Park-PFI で再整備を行うことにした。

王子動物園 市直営

動物園には、地球規模で野生動物の絶滅が進むなど、生物多様性の創出などが深刻化している状況下であり、種の保存や調査研究の取組をはじめ、野生動物の生態や環境保全に関する教育など、公益的な役割を果たしていくことが求められている。

動物園は、全国的に見ても、**社会教育施設**として公益的な事業に、より重きを置いた役割が求められることから、その多くは公営で運営されている。

かわなみ 質疑

王子動物園の運営はどのように？

市長は令和4年1月の定例会見で、王子動物園は民設・民営ではなく、公の施設として設置し運営していくと発言されていますが、他都市では動物園を独立行政法人化する動きもある中で、どのような考えで判断されているのでしょうか？

今回の王子公園の再整備の素案が『たたき台』ということで、これから議論されていく中で、指定管理体制が良いのか、独立行政法人が良いのか、いろいろな検討が必要だと思います。

かわなみの 視点

例えば、独立地方行政法人の場合、市が100%を出資して運営するという意味では、直営と変わらないと思います。また運営についても、神戸市と議会の関与が行えると思いますので、公の役割は確保されると思います。
※議会の関与が行えると、予算審議等を通して、議決・総合調整できます

油井副市長からの答弁

王子動物園の運営においては、公益的な事業は『より高度かつ専門的に』、収益的な事業は『より柔軟かつ効率的な運営』が求められている。様々な観点から総合的に検討し、今後とも王子動物園については、民営化することなく、神戸市が『**公の施設として責任を持って運営をしていきたい**』と考えている。

一方で、民間活力の導入という視点は非常に重要であると認識している。

市民から寄せられたご意見や他都市の状況、運営上の課題等を整理し、王子動物園にとって最適な運営方法、例えば今は市営だが、例えば独立行政法人、又は指定管理等について、検討していく必要があると考えている。

今回の王子公園の再整備素案に関しては市民の色々なお声が上がっています。しっかり吟味し、神戸市民が使いやすい、和める、本当にくつろげる公園にしていきたいです。

かわなみ 要望

かわなみ 質疑

今後の王子動物園の料金設定は？

須磨海浜水族園は再整備により入場料が高くなることが公表されています。王子動物園は市民のための社会教育施設であることから、神戸市民がメリットを感じて、利用しやすい料金設定にすべきでは？

かわなみの 視点

よい王子公園、動物園であってほしい、そのための整備であってほしいとの思いは誰も共通だと思います。もし廃止予定の施設があるなら、現在、よくお使いの方にとっては、ご不安で、そうならば、大変ご不便をおかけすることになります。今回のパブリックコメントのご意見を参考として、**利用者のお気持ちをくんで、成案に繋げてほしいです。**

油井副市長からの回答

《現在の入園料 大人 600円》

中学生以下並びに兵庫県内の在住の65歳以上の方や、障害者の方等を無料にするなど多くのの方が利用しやすいような料金体系（他都市の公立動物園と同程度）

《今後の入園料》

教育、種の保存、調査研究といった広域的な役割の重要性、他の動物園の状況等を踏まえ、**市民の方が利用しやすい料金体系を維持するように努めていきたい。**

他都市の動物園では、小・中学生や高齢者の無料の対象を市民に限定している事例もある。他の動物園の事例も参考に、事例を調査しながら、**市民の方がよりメリットを感じやすい料金設定についても検討していきたい。**

編集後記

今回の代表質疑は、自民党会派からは質疑内容がかぶらないように調整し、3名で質疑しました。特に、王子公園の整備に関しては、我が会派からは、吉田健吾議員（灘区）が質疑をしましたので、私からは、質疑の角度を変えて行いました。

議員の役割は、『議会で、神戸市から良い答弁を引き出し、我々市民の疑問の解消・生活の質の向上につながるようにすること』です。

皆さまからの期待に応えられるように、皆さまのお声から学びより良い神戸となるよう努力します。 **～かわなみただかず～**

道路整備や街の美化、公園、交通機関など暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、お住まいの地域のこともぜひお聞かせ下さい。



市政に真面目に 全力投球！